公益財団法人エコサイクル高知
令和8年10月31日　現在

概要

令和８年９月の測定結果については、以下のとおりです。全ての地点で基準値を下回っておりました。

表:河川水の測定結果

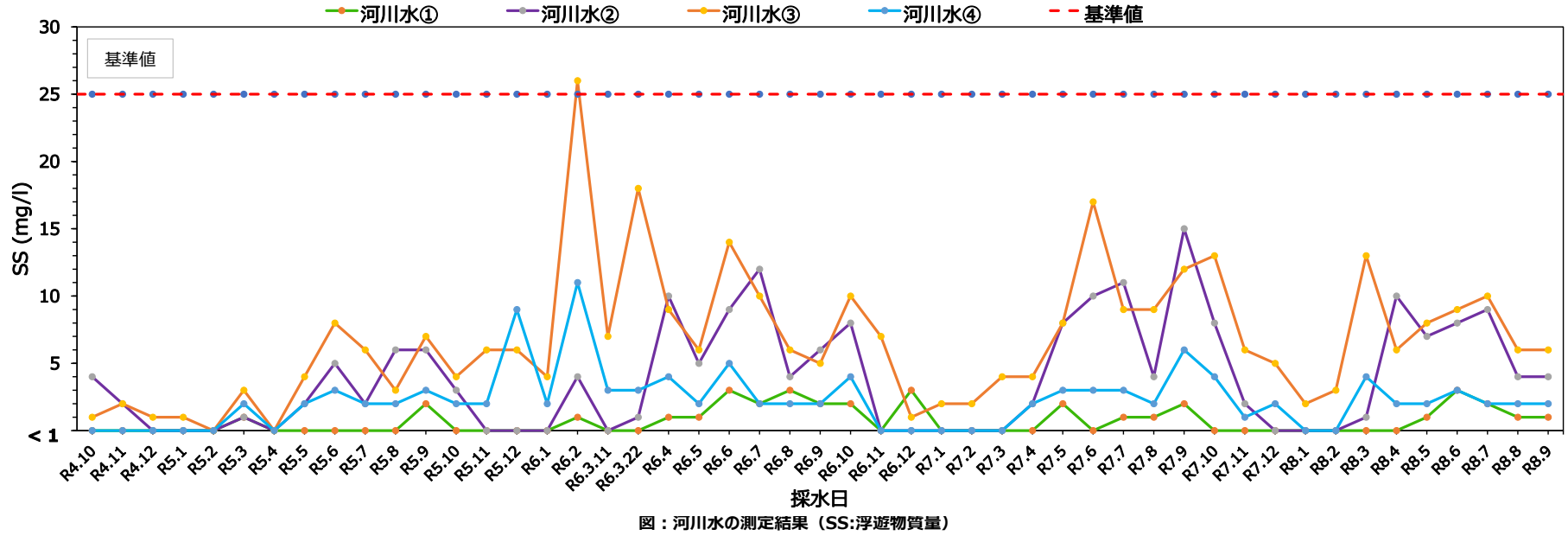
測定業者:㈱東洋技研

測定地点	測定項目	採水日						環境影響評価調査時（R2.5～R3.2で４回測定）				基準値※
		R8.4.22	R8.5.25	R8.6.22	R8.7.22	R8.8.25	**R8.9.24**	R2.5.13	R2.8.25	R2.10.19	R3.2.12	
河川水①	浮遊物質量(mg/l)	1未満	1	3	2	1	**1**	1未満	1未満	1未満	1未満	25
	濁度（度）	0.7	1.0	1.4	0.8	0.5	**0.6**	0.6	0.4	0.6	0.2	-
河川水②	浮遊物質量(mg/l)	10	7	8	9	4	**4**	1	3	4	1未満	25
	濁度（度）	12.0	5.2	5.2	6.0	1.4	**2.7**	0.6	1.0	1.5	0.4	-
河川水③	浮遊物質量(mg/l)	6	8	9	10	6	**6**	1	4	2	1未満	25
	濁度（度）	3.8	5.7	5.6	6.8	2.0	**2.6**	1.1	1.0	1.1	0.7	-
河川水④	浮遊物質量(mg/l)	2	2	3	2	2	**2**	2	1未満	1	1未満	25
	濁度（度）	2.0	2.2	2.2	1.5	1.3	**1.2**	2.5	0.5	0.6	0.3	-

※環境影響評価に用いた指標。調査を行っている長竹川に基準はないため、本川（ほんせん）である日下川に指定されている水域類型「環境基準類型A型」の浮遊物質量

出典：「水質汚濁に係る環境基準（環境庁告示）」別表２ 生活環境の保全に関する環境基準。上記基準に基づき、水域類型を高知県知事が指定

なお、濁度は環境基準値がありませんが、浮遊物質量と相関が高いことから、あわせて測定しています。



図：河川水の測定結果（SS:浮遊物質量）

公益財団法人エコサイクル高知
令和8年10月31日　現在

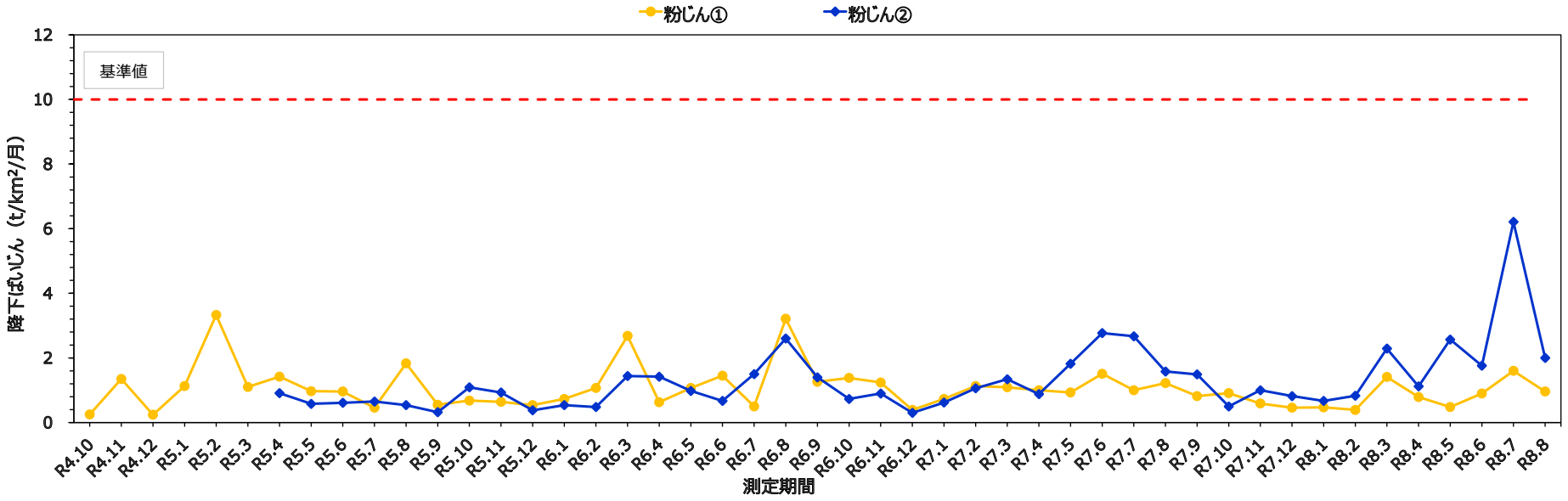
概要

令和８年９月の測定結果については、以下のとおりです。全ての地点で基準値を下回っておりました。

表:降下ばいじんの測定結果　　測定業者:㈱東洋技研

測定地点	測定項目	測定期間（1か月毎）						環境影響評価調査時※1（R2.2～R2.11で４回測定）				基準値※3
		R8.2.20～R８.3.24	R8.3.24～R８.4.22	R8.4.22～R８.5.25	R8.5.25～R８.6.22	R8.7.22～R８.8.22	**R8.8.22～R８.9.24**	R2.2.25～3.25	R2.4.20～5.19	R2.9.18～10.19	R2.11.2～11.30	
粉じん①	降下ばいじん（t/km²/月）	1.41	0.79	0.48	0.90	1.60	**0.96**	1.14	1.90	0.30	0.56	10
粉じん②※2	降下ばいじん（t/km²/月）	0.83	2.29	1.12	2.57	6.21	**2.00**					

※1　長竹公民館付近で測定。
※2　令和５年４月から測定。
※3　環境影響評価時に定めた参考指標（工事用車両の運行に係る降下ばいじん量の参考値。出典：「道路環境影響評価の技術手法（平成24年度版）」（国土交通省 国土技術政策総合研究所 平成25年3月））



図：降下ばいじんの測定結果